

# かながわ子ども教室

# ニ

# ュ

# ー

# ス

# 第81号

## <かながわ子ども教室> (森英敏)

年が明けて、2ヶ月あまり。その間の活動について報告します。

昨年秋から手がけている来年度の基本方針がほぼまとまってきました。3月19日の実行委員会で決定の予定ですが、書面審議という手段をとることになりました。このような方法をとるのは初めてであり、はたしてどうなることか・・・。

久しぶりに新しい教室が立ち上がりました。また立ち上がろうとしています。まず「私たちの体—心臓と呼吸—」(担当:金子章道さん)が2月に初めて教室が開かれた。私たちにとってはまったく初めての分野であり、子どもたちも興味を持つテーマだと思われ、今後の展開が大いに期待されます。聴診器を胸に当てて心臓の音を聞く体験はきっと子どもたちの心に残ることだと思います。次は「子どもの化学」、これは亡くなった鳥居さんが担当されていた教室であります。新井清隆さんが担当になり内容もすっかり一新して再登場です。そして3つ目は「たのしい実験室」(担当:安藤則夫さん)で、これまでの教室のようにある一つのテーマに絞らず、理科の実験をいろいろやってみるといった楽しい教室です。このように3教室がここ3ヶ月のあいだに誕生しました。

2月下旬頃から新型コロナのため、われわれの活動を一部制限することにしましたが、3月1日からは、すべての活動を中止することになりました。委員会等はメールを利用した「書面審議」に切り替えました。各教室は先方が中止を言うところと当方から活動中止を申し出る場合がありますが、3月末までの活動を停止しています。4月の教室もありましたがこれは先方から中止したいとの申し入れがありました。また恒例の川崎青少年フェスティバルは、参加すべきかどうか悩んでいましたが、川崎市から中止にするとの連絡があり、参加中止ということになりました。いろいろと松下恵造さん中心に準備を進めていただいた方に感謝したいと思います。

竹内俊晴さんが永年の農業体験活動に対して、3月13日に横浜市教育委員会から表彰を受けられたという、嬉しいニュースがありました。かながわ子ども教室の活動や、学校運営協議会での活動なども含めて評価されたとのことでした。

とにかく新型コロナウィルスが、1日も早く沈静化することを祈っています。